

平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 UTホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 陽一
 コード番号 2146
 問 合 せ 先 執行役員 FAユニット GM 塚原 進午
 電 話 番 号 03(5447)1710

平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想と実績との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、当社が平成 24 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期連結業績予想と実績との差異 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	1,000	960	590	2,775.88
今回実績 (B)	14,224	523	461	304	1,441.09
増減額 (B - A)	224	△477	△499	△286	—
増減率 (%)	1.6	△47.7	△52.0	△48.5	—
〔ご参考〕前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期 第 2 四半期)	11,705	751	700	341	1,699.77

2. 平成 25 年 3 月期 通期連結業績予想の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	2,500	2,420	1,460	6,869.13
今回修正予想 (B)	28,500	1,454	1,354	881	4,281.47
増減額 (B - A)	△1,500	△1,046	△1,066	△579	—
増減率 (%)	△5.0	△41.8	△44.0	△39.7	—
〔ご参考〕前期通期実績 (平成 24 年 3 月期)	24,106	1,453	1,379	880	4,259.78

3. 業績予想の修正理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、2012年問題（※1）における請負ニーズと顧客メーカーの高度化・多様化するコストダウンニーズを取り込めたことにより、取引先顧客工場数が大幅に拡大し、前回発表予想 14,000 百万円を 224 百万円上回る 14,224 百万円となりました。

（※1 2012年問題：リーマンショック後の2009年、急激な生産の立ち上がりに対応するため、メーカーは派遣労働者を一斉に受け入れました。その3年後の2012年に派遣契約がいっせいに期限（抵触日）を迎え、メーカーが派遣労働者を「直接雇用」するか「請負」に切り替えるかの選択を迫られている問題）

また、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益につきましては、次のとおりです。

今期に入り、請負化ニーズの拡大により、取引先顧客工場数が今期初から 174 工場増加の 411 工場となり、稼働数も今期初から 1,087 名増加の 7,169 名まで拡大しました。一方、取引先顧客工場数の解約も前年度に比較して増加しました。取引先顧客工場数と稼働数は引き続き拡大しているものの、例年に比べて顧客の「増減」の動きが大きく、新規顧客契約数の急激な増加に伴う新規顧客工場の立ち上げ費用や新規社員の採用費用や社宅費用、顧客工場の解約に伴う社員の退職費用等を計上したことにより、連結業績予想数値における前回発表予想の営業利益 1,000 百万円を、477 百万円下回る 523 百万円、経常利益 960 百万円を 499 百万円下回る 461 百万円となりました。

当期純利益については、上記理由によって経常利益が減少したことにより、前回発表予想の当期純利益 590 百万円を 286 百万円下回る 304 百万円となりました。

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、上記の第2四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、売上高は、前回発表予想の 30,000 百万円を 1,500 百万円下回る 28,500 百万円となる見込みです。また、営業利益は、前回発表予想の 2,500 百万円を 1,046 百万円下回る 1,454 百万円、経常利益は、前回発表の 2,420 百万円を 1,066 百万円下回る 1,354 百万円、当期純利益は、前回発表の 1,460 百万円を 579 百万円下回る 881 百万円となる見込みです。

今後につきましては、2012年問題による請負ニーズの取り込みとメーカーの構造改革ニーズに応える人材流動化支援サービスの提供を強化するとともに、新規顧客立ち上げ期間の短縮、社宅費用の低減等のコストコントロール施策を厳格に実行することで、収益の改善を図ってまいります。

4. 配当予想について

配当予想につきましては、1株あたりの配当金 2,600 円から変更はございません。

※本資料における業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上